



那覇市立大道小学校
学校 だより
第 20 号

かがやけ大道っ子

～ ともに歩こう ～



令和8年
1月5日

校長 新川 美紀

2学期後半開始

新年明けましておめでとうございます



令和8年(2026年)が始まりました。

今年の干支は「^{えと}丙午(ひのえうま)」。^{さつそう}颯爽と駆け抜ける午のように、物事が勢いよく進展し、成功や飛躍に繋がる年と言えます。干支は12年に一度回ってきますが、「丙午」は60年に一度です。今年は新しいことや諦めかけていたことに迷わず挑戦すると良い結果に繋がるそうです。チャレンジしましょう!

また、2学期後半は、「あじみっこ運動」の^み「身なり」と^{ことば}「言葉づかい」を整えていきましょう。特に「言葉づかい」は、「自分も相手もうれしくなる言葉」を考えて使いましょう。



「笑う門(かど)には福来る(きたる)」



この「ことわざ」を知っていますか?

「笑う門」とは常に笑顔や笑い声があふれる家、または明るく前向きな心を持つ人。つまり「いつも笑顔でいる人」の意味でも使われます。「福来る」は、幸運や幸せが自然と訪れることをさします。似た言葉の四字熟語に「笑門福来(しょうもんらいふく)」もありますね。これも「いつも笑顔が絶えず、笑いや笑い声の絶えない家(門)には依然と幸せ(福)がやってくる」という意味です。

困難な状況でも笑顔を保つと良い方向へ流れが変わることもあり、ポジティブな姿勢は重要です。「笑顔の力」は、脳の活性化や血行促進、ストレス軽減など、心身に良い影響を与えるといえます。また、笑顔は周囲にも良い影響を与え、人との繋がりをよくします。

「笑い」には人を元気にする力があります。新しいこの1年が素敵な1年になっていくように、みんなでたくさんの笑顔をつくっていきましょう。今年も職員一同、どうぞよろしくお願いします。



1/7(水)は七草の日。

上の「春の七草」をまな板にのせて叩き、かゆに入れて食べると、万病を防ぐと言われています。

七草は早春にいち早く芽吹くため邪気を払うと言われています。これを食べることで1年の無病息災(おびょうそくさい)を祈るようになったようで、江戸時代から始まった習慣です。

季節の旬の食材を食べることは一番栄養価の高いものを体内に取り入れることになり、体にも良いことです。1月24日を挟む1週間は給食週間です。学校でも様々な催しを給食委員会が準備しています。

この機会に旬の食材を調べてみるのもいいですね。

給食提供センターが明日から変更

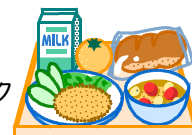
これまで真地にある真和志給食センターが本校の給食を提供していましたが、明日1/6(火)からは与儀小敷地内にある与儀学校給食センターから給食が運ばれてきます。

12/25(金)に給食試食会に参加してきました。新設された給食センターは、使用する機器や設備も最新です。

食材の洗浄室と調理する部屋も異なり、和え物を和える部屋やアレルギー食対応の部屋も別々に設置されています。

これまで以上に、美味しい給食の提供が可能になっています。10人の調理員で約1,130食を作るそうです。

献立表は年末にスクリレや学校ホームページで配布済みです。食物アレルギー等のメニューチェックもよろしくお願いします。



お知らせ

1/6は「校内書き初め会」

1-2年は硬筆です。3年以上は毛筆です。各自で「習字セット」の準備をして持たせてください。習字紙は学校で準備しています。新聞紙のある家庭は持たせてください。ご協力をお願いします。